

平成27年度国立研究開発法人森林総合研究所入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成28年3月10日(木) 森林総合研究所特別会議室	
委員	鬼沢浩志(一般財団法人建築保全センター参事)、中川文雄(元会計検査院第2局監理課長)、二井矢句子(弁護士)	
審議対象期間	平成27年1月1日～平成27年12月31日	
対象案件	総件数:11件(抽出案件:4件)	
	工事	業務
一般競争入札	3(2)	1(1)
不落随意契約	5(1)	2(0)
(議事) (1) 委員長選出 (2) 抽出案件に係る説明、審議 (3) まとめ	抽出案件・(抽出の理由) 発注工事一覧表及び発注業務一覧表の中から、以下の工事及び業務を抽出。 ・本所D-4棟インフラ整備工事(建築一式工事、契約額最大) ・本所A-1棟空調設備改修工事(管工事、低入札価格調査実施) ・本所A-2棟スクラバー更新工事(管工事、不落随契最大) ・本所A-1棟空調設備改修工事設計業務(最多応募)	
議事	委員からの主な意見・質問	森林総合研究所の回答
(委員長選出)	委員の互選により、鬼沢委員が委員長に選出された。	
(審議概要)	【本所D-4棟インフラ整備工事】 ・入札参加資格のランクを広げる場合の基準の検討結果について説明してほしい。 ・説明責任の観点から、明文化することを検討すべき。	・入札審査委員会において、個別事案毎に判断し、決定することとしている。 ・検討する。
	【本所A-1棟空調設備改修工事】 ・予定価格と契約額に大きな差がある原因について説明してほしい。	・更新する機械の価格が、予想以上に低かったことによるものである。
	【本所A-2棟スクラバー更新工】 ・入札が不調に終わった場合の不落随契において、適正な履行を確保する観点から、不履行などのリスクが発生しないよう確認することを検討していただきたい。	・検討する。
	【本所A-1棟空調設備改修工事設計業務】 ・再度入札の回数について説明してほしい。	・規定上は最高で3回までである。
(まとめ)	・特に問題となることはなかった。 ・入札参加資格のランクを広げる場合の基準の作成を検討していただきたい。 ・不落随契を行う際には、適正な履行が担保されるよう確認することを検討していただきたい。	・検討する。 ・検討する。